

# 英語 (筆記) [高1生部門]

## 単語・熟語・文法の早期完成に取り組もう。

### I. 全体講評

今回の全国統一高校生テスト [高1生部門] の英語 (筆記) の平均点は、131.7 点、得点率にして 65.8% という結果だった。この模試は、**第1問・第2問**は語彙・文法・短い会話を中心とした基礎学力を測る問題、**第3問～第5問**は現行のセンター試験に近い形式の読解問題となっている。

今回の大問別の結果を見ると、最も得点率が高かったのは**第4問**で 72.0%、最も低かった**第3問**でも 57.2% で 6 割近く取れており、この時期としては良い出来だったといえるだろう。**第3問**は文脈把握力が求められる説明文の読解問題で、**A・B**は段落の中での文と文のつながりを正しく理解する力、**C**はそれに加えて段落構成を意識して読む力が試されている。論理的な英文を読むときには、単にその意味を理解するだけでなく、「英文の組み立て」を把握することが必要になることを認識しておこう。その際には、①接続語句 (つなぎの言葉)、②

代名詞などの指示語、③不定冠詞 (a/an) と定冠詞 (the) の違い、を意識するとよいだろう。

今回の模試を通じて、まずは当面の目標となるレベルを知り、基本語彙と文法未習事項の早期習得を目指して、計画的な学習に取り組んでいこう。

### II. 学習アドバイス

#### ◆単語・熟語の学習

単語・熟語の習得は英語学習の基本である。単語・熟語は繰り返し学習することで確実に身につけてくるので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に終わらせよう。基礎的なレベルの単語集・熟語集をできるだけ早く一巡し、定期的に繰り返し確認を行うこと。なお、単語を覚えるときには必ず声に出して発音やアクセントも身につけていくことが大切である。

#### ◆文法の学習

高1生の段階では文法の学習を一通り終えることが最優先の課題となる。基本的な文法事項に絞って学習し、できるだけ早く全体像をとらえることを目標にしよう。

#### ◆構文の学習

文法学習を一通り終えた人は、長文読解の学習に入る前に文構造の学習を行うことをおすすめする。基本的な構文を扱う教材を使い、文法の復習をかねて基本構文をマスターしていこう。

#### ◆読解の学習

高1生の時期は、しっかりとした英語の基礎学力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのための最も効果的な学習方法は音読である。音読を繰り返すことで、英文の流れやリズムが身体にしみこみ、すべての土台となる英語力が養われていく。こうした学習を今すぐ習慣化していこう。

